

スキンケアわかりやすいお話-補足

トラブル肌予防対策は、スキンケアで少しでも乾燥肌と敏感肌を改善し、「肌のうるおい力をとり戻す」「肌のうるおい力を回復させる」ことです。そのための2つの重要要素があります。①肌自身のうるおうとする力を引き出すことと、②「その力」を引き出すことを早めるために、肌に油分や水分を同時に補給し、うるおいを与えることです。

海の森が推奨する適切なスキンケア：

石鹸やクレンジングで洗顔した後の肌は、一番デリケートな肌状態です。その時に海の森を使用します。100%微量天然成分（不飽和脂肪酸：天然由来のセラミドなどが含有）が肌本来の力を引き出し、潤いを持続させます。なお、不飽和脂肪酸は、肌では細胞間脂質（タイプ1のセラミド）の中で遊離脂肪酸やコレステロールなどの成分と一緒に角質層の中でラメラ液晶構造を形成し、角質水分量を維持する成分として重要な成分です。詳しくは：uminomori.com「スキンケア分かりやすいお話（1-3）」

肌トラブル対策の視点からも、乾燥肌と敏感肌のときに、適切なスキンケアを施すことはとても大切です。

デリケートな肌状態のときに海の森でスキンケアを行うと、なぜ高い効果につながるのですか：

有効成分や油分と水分を同時に補給することができるからです。

石鹸やクレンジングで洗顔した後の肌は、皮膚表面の皮脂が洗い流され、また角質層の最上層のNMF（天然保湿因子）や細胞間脂質も少なく、刺激に対して敏感でしかも水分蒸散がしやすい乾燥・敏感肌状態になっています。

皮脂が洗い流されているので、皮膚表面に水分と油分が必要です。最上層の角質層細胞間脂質（タイプ1のセラミド：不飽和脂肪酸）も少なくなっていますので、不飽和脂肪酸が必要です。もし不飽和脂肪酸の代わりに飽和脂肪酸が入った場合、液晶ラメラ構造が壊され、水分の蒸散量が増加し、皮膚表面は荒れて、カサカサになります。NMFも少なく水分保持機能（アミノ酸結合水）も低下しています。単なる水分補給では保湿効果があまり期待できません。

デリケートな肌状態のときのスキンケアにおいて、海の森フィジカルバランスウォータとオイル・化粧水・クリームや乳液では違いがあります。なお、詳しくは、スキンケア分かりやすいお話(1)を参照してください。